

コースのあらし スタート地点を出発して宇治橋を渡り宇治川右岸へ。宇治橋断碑が境内にたつ放生院の前を通り、川沿いの道から離れて宇治神社への階段を登る。隣りあう宇治上神社は世界文化遺産に登録され、本殿と拝殿は国宝。仏徳山への登山口を経て興聖寺に下るが、途中の休憩所からは宇治市街を一望できる。川沿いの道に戻り桜と楓のプロムナードを1キロ歩いて天ヶ瀬吊橋を渡る。最奥には平安時代建立の金色院ゆかりの史跡が。宇治川左岸に戻って塔の島や平等院など宇治のハイライトを時間の許す限り楽しもう。

(三室戸寺) 仏徳山方面への分岐点(1128)から三室戸寺への往復コースで、片道1キロ余り。コースは住宅地を通して石畳をアレンジした美しい門前の道をたどる。三室戸寺は西国三十三カ所第十番札所、観音詣りの人だけでなく、ツツジ・アジサイ・ハスなどの花や広大な庭園を賞でに訪れる人も数多い(要入山料)。

(天ヶ瀬ダム) 宇治川右岸から左岸へ渡る天ヶ瀬橋(4156)からそのまま上流へ向かう。志津川橋を渡って左へ曲がり自動車道と産業廃棄物処理場への進入路を登る。鳳凰湖とも呼ばれる天ヶ瀬ダムを一望したあとダムサイトを通して対岸へ。天ヶ瀬吊橋へは3キロ余。



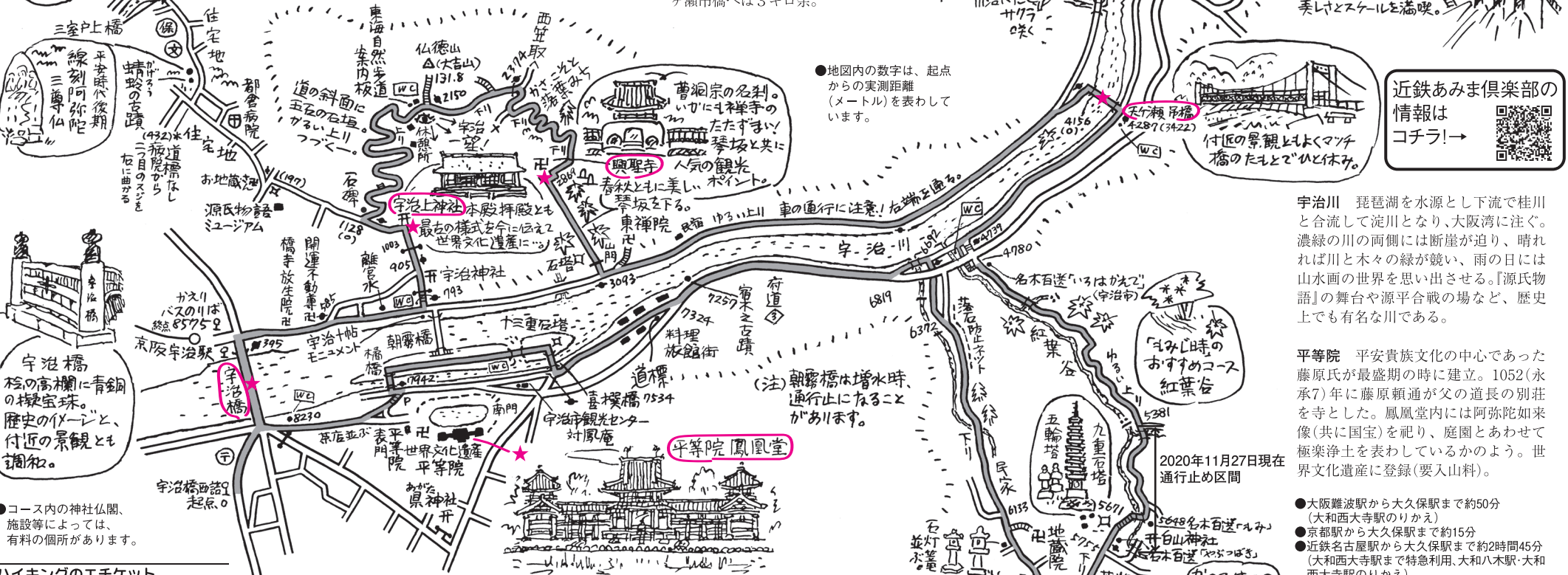
天ヶ瀬吊橋(4287)より上流のオプションコースは、天ヶ瀬ダム再開発事業のため通行できません。

天ヶ瀬ダム ドーム型アーチ橋 高さ73メートル 長さ254メートル 翼をひろげた鳥にも似て 美しさとスケールを満喫。

●てくてくまっぷはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。

●地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。

近鉄あみま倶楽部の情報はコチラ！



宇治橋 桜の高欄に青銅の擬宝珠。歴史のイメージ、付近の景観とも調和。

●コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の箇所があります。

ハイキングのエチケット
*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつしめましょう。

●大久保駅前バスロータリー ③④⑤番のりば
●宇治橋西詰まで約15分

★は近鉄あみま倶楽部アプリのチェックポイントです。

●約9キロ [宇治橋西詰バス停～宇治上神社～興聖寺～紅葉谷～平等院～宇治橋西詰バス停]

宇治回遊コース

宇治川 琵琶湖を水源とし下流で桂川と合流して淀川となり、大阪湾に注ぐ。濃緑の川の両側には断崖が迫り、晴れば川と木々の緑が競い、雨の日には山水画の世界を思い出させる。『源氏物語』の舞台や源平合戦の場など、歴史上でも有名な川である。

平等院 平安貴族文化の中心であった藤原氏が最盛期の時に建立。1052(永承7)年に藤原頼通が父の道長の別荘を寺とした。鳳凰堂内には阿彌陀如来像(共に国宝)を祀り、庭園とあわせて極楽浄土を表わしているかのよう。世界文化遺産に登録(要入山料)。

- 大阪難波駅から大久保駅まで約50分 (大和西大寺駅のりかえ)
- 京都駅から大久保駅まで約15分
- 近鉄名古屋駅から大久保駅まで約2時間45分 (大和西大寺駅まで特急利用、大和八木駅・大和西大寺駅のりかえ)
- バス 大久保駅から宇治橋西詰まで約15分
- バス時刻のお問い合わせ 京都京阪バス八幡営業所 ☎(075)972-0501

2020年11月27日現在 通行止め区間

かつてはこのあたり一帯、白川金色院の境域か。

このコース地図は2023年2月調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。

企画・発行=近畿日本鉄道(株) 制作・印刷=(株)アド近鉄 イラストマップ=トシ・アトリエ 瀬川俊朗 ※断転写禁ず。



きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう